資料2

議題２　公園などの樹木の維持管理について（一宮市提出）

市名	回答
	（１）巨木化、老木化、落ち葉対策及び維持管理費のコスト縮減対策について
名古屋市	本市では今年度、公園樹木の維持管理方針を策定し、その中で老木や巨木、危険木の取扱いについても整理していく予定です。将来的には公園樹木を計画的な維持管理をしていくことで、コスト縮減につなげていきたいと考えています。 また、落ち葉清掃等については、市民ボランティアの皆様にもご協力をしていただいていますが、公園樹木の維持管理のコスト縮減対策については、本市においても課題となっています。
豊橋市	・街路樹については巨木化、老木化した樹木の植え替えをあいち森と緑づくり都市緑化推進事業（美しい並木道再生事業）により、更新し、管理本数を削減し、維持管理費を縮減しています。 ・公園樹については、危険木の伐採に取り組むことで、維持管理費を縮減しています。 ・落ち葉については、市民事業者に対しては、緑のアダプト制度によるボランティアでの落ち葉清掃に対してごみ袋等の支援や、自治会等に対しては、街路樹愛護会による清掃活動に対して報償費による支援を行っています。
岡崎市	公園樹木や街路樹は年間管理委託にて月２回のパトロールを実施しており、危険木などを早期発見し、伐採や剪定などの対策に努めております。また、台風時期までに中高木の剪定を行うことで、落ち葉の軽減を図っております。 街路樹については、コスト縮減や適正な管理を推進するため、巨木化・老木化した樹木の更新、適切な剪定方法などの基準について、今後検討していく予定です。
一宮市	議題提出市
瀬戸市	瀬戸市も、公園や緑道の樹木の巨木化、老木化による剪定及び伐採、落ち葉対策については、別途、個別の委託により危険木を調査し伐採するなど対応しているのが現状であり、年々維持管理費が増加する傾向にあります。
半田市	本市におきましても、公園・緑道の樹木や街路樹の管理は年間管理委託いたしておりますが、委託内では部分的な高木の剪定のみの計上となるため、委託範囲を超えるものについては、貴市同様に個別にて対応している状況です。危険箇所の未然防止を図るため、職員による公園等のパトロールや委託造園業者によるパトロール及び点検により、危険箇所等があった場合は早急に対応するようにしております。 街路樹については、基本的に樹高や樹形をコントロールしやすい樹種を選定するようにしております。また、落ち葉対策として、常緑樹は新芽が出る数か月前に剪定するようにしており、落葉樹は落葉前に剪定するなど落ち葉の軽減に努めていますが、基本的には落ち葉の処理については、原則、近隣にお住いの方に御理解と御協力をお願いしている状況です。 なお、管理が困難で伐採した樹木としてプラタナスがありますが、プラタナスは巨木になりやすく、落ち葉も多く、老木になると幹の内部が空洞化し、台風時等に倒木の懸念がある樹木であるため、伐採しています。なお、外観では健全に見えても、伐採すると５０％以上空洞化した樹木も少なくはありませんでした。
春日井市	定期的な点検と剪定を実施している。
豊川市	巨木化や老木化の現況について、危険が生じる箇所は、別途、個別修繕にて対応しています。今後は、パトロールにて危険個所を選定し、計画的な伐採を検討しています。
津島市	津島市では公園や緑地帯の樹木、街路樹も年間の業務委託にて剪定、伐採を行っております。緊急性がある場合に関しては、修繕や別途委託にて対応をしています。また、本年度より美しい並木道再生事業の交付金を活用し街路樹を高木から中低木に植え替えることで落ち葉対策を行っていきます。

議題２　公園などの樹木の維持管理について（一宮市提出）

市名	回答
	（１）巨木化、老木化、落ち葉対策及び維持管理費のコスト縮減対策について
碧　南　市	本市においても公園緑地や街路樹等の管理に関しては維持管理委託を発注し実施しています。その中で、都市公園や広場等の維持管理に関しては、３ヵ年の長期継続契約を行い、経費節減に努めているところです。 また、高木等の剪定については、公園や街路樹を問わず、必要に応じ個別で対応している箇所が多い状況ですが、過去の実績等から、剪定の必要サイクルが見定められる箇所については、できるだけ維持管理委託の中に含めて入札・発注を行い、支出の抑制に努めています。
刈　谷　市	本市では、道路植栽は年間管理委託で、また公園植栽は状況に応じて個別に委託を発注し剪定を行っております。樹木の巨木化、老木化、落ち葉対策については、剪定や伐採で対応しております。コスト縮減対策については現在検討中です。
豊　田　市	当市でも課題として認識しています。公園や道路の街路樹の維持管理は、造園業者等に年間の維持管理委託を発注しており、高木の骨格剪定や整枝剪定は、維持管理業務で対応しています。 ただし、公園から隣地への越境事案は、個別案件として対応しており、個別案件は、令和2年度で年間106件ありました。 巨木化、老木化、落ち葉対策についてですが、巨木化については、公園整備に流行があり、メタセコイアや楠、ユーカリなど樹高が２０ｍを超えるような木は、伐採により減少傾向にあります。老木化については、2～3年に1回、民家の隣接部の樹木調査を行い、倒木の恐れがある木は、伐採、剪定を実施しています。落ち葉については、地元の環境美化活動やボランティアの方に収集を支援していただいております。道路の街路樹についても定期的に診断を行い、診断結果に基づき伐採・剪定を実施しています。 コスト縮減については、新たに植樹する際には、巨木化しづらい木の選定や、シンボルツリーとする場合は公園の中心に植樹するなどで、樹種と位置を考慮し整備をしています。
安　城　市	公園と緑道の樹木については年間管理委託にて剪定を行い、必要に応じ強剪定にて樹高を抑えることにより通常管理の剪定作業を容易にしています。また、落ち葉回収や樹木剪定を現業職員やシルバー人材センター委託契約で実施することにより維持管理費を縮減しています。 街路樹については、貴市同様、年間管理委託にて剪定しています。令和３年度に樹木診断を行うと共に歩道や植栽帯の幅員も調査し、基準に合わない街路樹の撤去、更新等樹木管理の見直しを予定しています。また、樹種によっては剪定の頻度を減らすなどコスト縮減を図っています。
西　尾　市	コスト縮減対策にはなっていませんが、公園、街路樹において年間維持管理の中に高木の剪定も入っており、年々巨大はしておりますが、支障はありません。落ち葉については、苦情があったところについて、直営で作業をしています。
蒲　郡　市	蒲郡市の管理方法として、公園、緑地の植栽は年間管理委託で対応しております。ただ、蒲郡市としても巨木化、老木化による維持管理費の増加について苦慮している状態です。令和２年度に遊具の長寿命化計画を策定したことを受けて、今年度中に公園樹木の伐採計画を策定する予定です。高木伐採し、同じものを植えるのではなく、公園全体のレイアウトから、その場所に樹木が必要か、植える場合、高木ではなく、地被類や、環境圧力に強い低木にできないかを考慮し、順番に伐採していく計画です。管理する樹木を計画的に減らしていくことで、公園の魅力を向上させつつ、コスト縮減を図るものです。
犬　山　市	貴市と同様に樹木の維持管理に苦慮している所です。 今後、街路樹や公園樹木の視認性や周囲への影響を考慮し一定のルールを検討した上で、本数を減らしていき、管理コストを縮減できればと考えております。
常　滑　市	巨木化、老木化する前に計画的に剪定することが望ましいと考えますが、貴市同様、個別案件ごとに対応しているのが現状です。
江　南　市	地元区などからの要望を受け緊急に対応することもあり、対象となる樹木も多数ある中で、当市も同様の状況にあることから苦慮しております。

議題２　公園などの樹木の維持管理について（一宮市提出）

市名	回答
	（１）巨木化、老木化、落ち葉対策及び維持管理費のコスト縮減対策について
小　牧　市	本市におきましても、貴市と同様に巨木化、老木化、落ち葉の対応に苦慮しているのが、現状であります。現在、本市としまして、他市も同様な対応を実施しているかもしれませんが、落ち葉等の苦情等の多い箇所につきましては、落葉が始まる前に剪定を実施する、新規の植樹及び植替えが発生した際は、極力、落葉樹や大きく成長する樹種を採用しないようにするなどの対応をしているところであります。
稲　沢　市	稲沢市では、公園、施設内の樹木及び街路樹の管理等は業者委託にて年間を通した維持管理をしており、枯れ等による撤去要望等に対しては別途手数料にて対応しております。また、樹木剪定時期の調整や公園清掃を委託している地元団体の協力によって、落ち葉による苦情に対応しております。
新　城　市	当市においても、公園、緑道の高木については年間管理委託ではなく、別途、個別委託しております。しかしながら、予算も限られておりますで、優先順位等を考慮し、枝払い等の簡易のものであれば、職員が対応しております。近年、地元からの要望が増加しており、対応に苦慮しています。
東　海　市	本市における巨木化、老木化、落ち葉対策につきまして、街路樹は年間管理委託で、公園は指定管理で、必要に応じて強剪定を実施しています。また、維持管理費のコスト縮減対策については、優先順位をつけて実施することで対応しています。
大　府　市	巨木化、老木化については本市でも問題視しております。更新や植え替え等で対応をしていきたいところではありますが、費用的に実施が難しい状況となっております。本内容についてのコスト縮減対策については、実施できていない状況です。
知　多　市	知多市では、公園・緑地の高木についても年間の維持管理委託において、剪定や伐採等の樹木の管理を委託しています。 委託箇所については、職員の巡回により、当該年度に実施する箇所を判断しています。定期的に手入れをすることにより、年々の維持管理費の平準化を図っています。 また、公園内の平場の草刈りや、低木の剪定については、市民協働の観点から、町内会や子ども会等への委託、高齢者の雇用の安定の観点からシルバー人材センターに委託することにより、維持管理費のコスト削減を図っています。
知　立　市	（公園管理） 現在、当市も維持管理に苦慮しております。公園樹木は、剪定時に間引（伐採）等を検討し樹木本数を減らし、今後の維持管理費縮減に繋がると考えています。落ち葉対策には、直接繋がるとは思えませんが樹木本数が削減できれば落ち葉の量も減ると考えます。 （道路管理） 当市では、街路樹管理（清掃、除草、剪定等）を年間管理委託しており、年々維持管理にかかる経費は増加しています。コスト縮減対策としては、老朽化した低中木の伐採は職員にて作業を行う、道路愛護会を募集し一部区間の清掃、除草を地域住民の方に行って頂くなどが挙げられます。
尾 張 旭 市	公園緑地の巨木化や老木化は本市においても問題として認識しています。容易に枯れ枝等の処理ができず、高所のため気づきにくく、老木化も同様に落下による事故や台風時の倒木事故につながるものとして懸念しております。 高木の剪定は、市全体を３つのエリアに分け、各エリアを３年毎に剪定するよう計画を立て、剪定業務をまとめて発注することで維持管理費のコスト縮減を図っています。その際、強剪定を行うことにより、巨木化を抑えるよう管理しています。 巨木化したものは、安全確保と以後の維持管理費削減のため、地域に了解を得て根元から伐採を実施することもあります。地域によっては緑を残したいという意見もありますが、事故や維持管理費等の事情を説明しながら子どもたちが遊ぶ公園緑地が安全な場所となるように努めています。 また、落ち葉対策については、前述の高木剪定を９月から１０月に行うことで落葉を削減しています。
高　浜　市	公園、緑道の高木については年間管理委託をしており、樹木点検の結果によっては伐採している。当市も年々維持管理費が増加しているのが現状です。

議題２　公園などの樹木の維持管理について（一宮市提出）

市名	回答
	（１）巨木化、老木化、落ち葉対策及び維持管理費のコスト縮減対策について
岩　倉　市	当市においても、公園の樹木が植樹してから年数が経過しており、巨木化、老木化している状況です。そのため、貴市同様、公園樹木の枝が道路や隣地へはみ出したりする等、対応に苦慮しております。 当市においても、巨木等の強剪定を業者へ年間管理委託し、落葉の清掃は地元区やシルバー人材センターへ委託しておりますが、貴市と同様、対応に苦慮しております。
豊　明　市	公園の巨木・老木の剪定に関しては、都市計画課としても苦慮しているところでありますが、令和4年度から指定管理者に管理させることとなっていますので、コスト削減が図られる予定です。
日　進　市	巨木等は個別委託により対応せざるを得ませんが、公園等愛護会や、シルバー人材センターによる公園等巡回派遣業務（単価契約）において、ごみ、落ち葉等の清掃撤去や除草、樹木剪定等の軽微な維持管理作業をお願いし、コスト縮減対策を図っています。
田　原　市	直営の会計年度任用職員により剪定、伐採等を行っており、コスト縮減を目指している。
愛　西　市	公園の樹木につきましては、年に２回実施する直営での施設保守点検等を通じ、状況把握に努めております。点検の結果、道路や隣地へ影響を及ぼしそうなものや、枯木等については、シルバー人材センター等へ個別に剪定・伐採を依頼し、日頃から適切な管理を行うことで、維持管理費の抑制、平準化に努めております。また、落ち葉対策としましては、フェンス下部の隙間に飛散防止ネットを設置して対応している公園があります。
清　須　市	巨木・老木については、市民から苦情や要望があれば、コスト縮減のため、積極的に伐採するようにしている。落ち葉対策については、落葉樹は落葉前に剪定しており、落ち葉の清掃は、自治会かシルバーに委託している。
北名古屋市	①シルバー人材センターの積極的な活用 ②剪定時期を早めて、緊急的な委託費を削減 ③高木を間引く（地元自治会の了承は必要）
弥　富　市	当市においては、街路樹、公園樹木の管理を市内造園業者に年間委託しております。特に、公園樹木については、巨木化、老木化、落葉対策の対応に苦慮しておりますが、具体的な維持管理費のコスト縮減対策は有りません。
みよし市	公園、緑道の高木については、必要に応じて個別に対応しており、コスト縮減に苦慮しております。
あ　ま　市	公園・緑道の高木については、年間管理委託で年1回の剪定を行っています。伐採は、公園施設の改修工事と併せて実施することで、経費の削減を図っています。落葉対策として、風で公園外に流れることを防ぐため、フェンス面にネットを貼るなどの対策を実施しています。街路樹の中高木については、あま市においても年間管理委託で年１回の剪定を行っています。また、街路樹の植樹帯について、昨年度に試験的に１路線のみ除草後に土舗装の防草対策を行い、除草の維持管理費の削減を図りました。街路樹の植替え及び防草対策については、美しい並木道再生事業を申請して、事業を計画しています。
長久手市	維持管理費の全体的なコストダウンとして指定管理者制度を導入しております。しかし巨木化、老木化、落ち葉に対した特別な対策はできておりません。